



©萩庭桂太

認知症が 私たち家族にくれた ギフト

講師 信友 直子

NAOKO NOBUTOMO

映画監督・ノンフィクション作家

老老介護の日常を描いたドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」の公開から8年。
「家族とは」「人生とは」「つながり・支え合いとは」「地域・居場所とは」
いま一度、一緒に考えてみませんか？

令和8年 | SATURDAY

10.31(土)

午後2:40～午後4:00

会場 福井県生活学習館
ユー・アイふくい

福井市下六条町14-1

※駐車場には限りがありますのでご了承下さい。

参加費無料



➡申込はこちら

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

TEL 0776-24-2339

<https://forms.gle/4aYgJ5xtmrLZK1WW6>



赤い羽根共同募金 助成事業

信友 直子（のぶとも なおこ）

1961年広島県呉市生まれ

1986年よりテレビ番組制作の道へ。ドキュメンタリー番組の構成・演出を数多く手がけ、お笑い芸人を目指す身体障害者の少年を描いた「青山世多加」で放送文化基金賞奨励賞。自らの乳がん闘病を描いたセルフドキュメント「おっばいと東京タワー～私の乳がん日記」で各種賞受賞。他、北朝鮮拉致問題、若年認知症、ひきこもり等様々なテーマを手がける。

2018年、認知症の母と老老介護する父の日常を描いた映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を公開、ドキュメンタリー映画としては異例の25万人を動員する大ヒットに。翌年書籍化、文化庁映画賞文化記録映画部門で大賞受賞。

2022年3月より続編映画公開。上映会でロングラン上映を続けている。

◆著書◆

「あの世でも仲良う暮らそうや 104歳になる父がくれた人生のヒント」（文藝春秋）

「おとうさんは103さい」（さ・え・ら書房）

「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえり、お母さん～」（新潮社）

「ぼけますから、よろしくお願いします。」（新潮社）

申込はこちらへ



社会福祉法人福井県社会福祉協議会

福井市光陽2-3-22 福井県社会福祉センター内

TEL (0776) 24-2339

Eメール somu@f-shakyo.or.jp

HP <https://www.f-shakyo.or.jp/>